



編集・発行／日本共産党伊勢崎市議団 〒372-0032 伊勢崎市北千木町 2087 TEL25-4854/fax24-8204
ホームページ www.icp-isesaki.net/ メールアドレス sigidan@icp-isesaki.net

値上げは必要なかった介護保険料

介護保険会計繰越金・介護給付費準備基金残高 (百万円以下四捨五入)

期	年度	前年度繰越金	年度末基金残高
6期	2015 (H27)	3億2千万円	2億円
	2016 (H28)	5億8千万円	3億9千万円
	2017 (H29)	7億1千万円	7億8千万円
7期	2018 (H30)	5億9千万円	11億3千万円

※但し、2018 (H30) 年度の基金残高は第一次補正後。

9月定例会が8月31日～9月28日の間、開かれました。長谷田公子市議が、一般会計や介護保険の決算質疑、北島元雄市議が国保・学校給食の決算質疑と一般質問を行いました。

保険料値上げで基金は11億3千万円に

市は3年前に、「高齢者が増えて赤字になる」と、一気に37%も介護保険料の基準額を上げました。

今年度からの第7期スタートにあたり、市は基金から4億円取り崩しても足りなくなると保険料を2.7%上げました。

しかし、昨年度の保険料はさらに3億5千万円余り、基金は11億3千万円に増えています。「保険料が

第7期保険料値上げは必要なかった!!

しかし、この3年間、計画より介護サービス利用が少なく大きな赤字が出て、70万円の基金は7億8千万円に急増しました。

昨年度、運動の成果は

●就学援助、大幅増に

学校給食費や行事費などを支給する就学援助について、党議員団は「収入基準を明確にし、民生委員の訪問調査をやめて」「申込書を全ての子どもに配って」と改善させてきました。

改善前の2014年度と昨年度で、小学生は3.3%から6.4%に、中学生は4.9%から7.8%に大幅に受給率がアップ。それでも、全国平均の半分程度です。

●こんな制度知らなかった!

介護度1以上だと税が軽減される 控除認定証発行が5倍に

介護度1以上の人には、申請により障害者と同じ税控除ができる認定証が出ます。

昨年は、自宅に制度案内と申請書の送付を提案し実現。一昨年度702件だった認定証発行件数が、昨年度は一気に3,456件と5倍になりました。

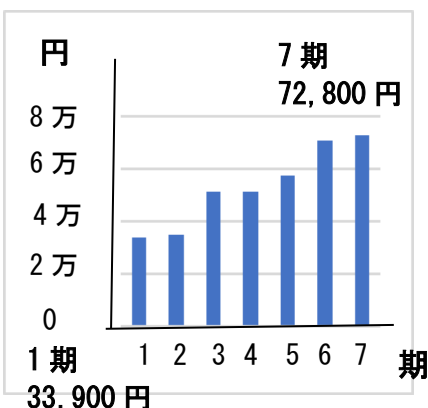
介護度がおおむね1~3→障害者控除

(控除額：所得税27万円、市県民税26万円)

介護度がおおむね4・5→特別障害者控除

(控除額：所得税40万円、市県民税30万円)

伊勢崎市の介護保険料基準額



余るのは、年金が下がり保険料が上がって介護に使えるお金が減っているからだ」と、市は気づかないのでしょいか? 保険料引き下げの財源は、十分あります。